

第33回 OHK 杯争奪フィギュアスケート大会注意事項

実施時の感染防止策チェックリスト（参加者向け）

香川県スケート連盟

感染拡大予防のために協力を求めること。

厳守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ます。

① 以下事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。

ア：体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）

イ：同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

ウ：過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

② マスクを持参すること（移動時や着替え等、活動以外の際や会話をする際にはマスクを着用すること）。

③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

④ 他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保すること。

⑤ 競技開催中に大きな声で会話、応援をしないこと。

⑥ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守、主催者の指示に従う。

健康調査票の提出

選手に対して

JSF事務局で提案するスマートフォンアプリを使用する。

スマートフォンアプリも使用できるが、できない環境の方もいるので、紙ベースのもの（健康調査票）を使用する。

検温の際に、37.5度を基準として判断する。（当日の体温の測定忘れの場合は大会本部で計測）

ことある毎に手指消毒と手洗い・うがいを励行する。

ウォームアップやダウンは各自で行い、集団では行わない。

控え室・更衣室には長居しない。

ゴミは持ち帰ること。

競技以外は極力マスクを着用する。

コーチに対して

当日、37.5度を超える発熱の場合は会場へ入場できない。

リンクサイドでは他のコーチと距離を取って待機する。

マスクを着用する。

※当大会は、無観客での実施とします。但し、保護者のみ入場を認める

□会場では、選手・監督・コーチ・役員全員がマスクを着用すること。ただし、選手のアップ中や氷上ではこの限りではない。

□会場に入場できるのは、選手1名につき、監督・コーチそれぞれ1名までとする。保護者は2名まで。一般の観覧は、これを認めない。(入場者は必ず健康調査票を提出のこと)

□選手・監督・コーチ・役員・保護者は、当日朝に 37.5℃以上の発熱があれば、会場に会場せず自宅待機すること。

□受付時に体温を測定し、37.5℃以上の熱があれば出場を認めない。

□開会式は、選手は集合せず、放送でのアナウンスとする。

□閉会式・表彰式は実施しない。賞状・メダルは個別授与とする。